

## 平成21年12月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ベルパーク

コード番号 9441 URL <http://www.bellpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川 猛

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 石川 洋

TEL 03-3288-5211

四半期報告書提出予定日 平成21年10月30日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年12月期第3四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	33,949	—	2,630	—	2,613	—	1,523	—
20年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	25,253.18	25,250.77
20年12月期第3四半期	—	—

(注)平成20年12月期第3四半期においては連結財務諸表を作成しており、個別業績の開示を行っていないため、平成20年12月期第3四半期の経営成績(累計)については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	15,956	7,011	43.9	116,179.33
20年12月期	12,109	5,565	46.0	92,226.15

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 7,011百万円 20年12月期 5,565百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	2,600.00	2,600.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年12月期の配当予想につきましては、本資料の公表時点では、平成21年10月5日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました配当予想に変更はございません。

### 3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,436	5.8	3,034	43.1	3,002	43.0	1,668	58.9	24,925.27

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 66,928株 20年12月期 66,928株

② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 6,581株 20年12月期 6,581株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年12月期第3四半期 60,347株 20年12月期第3四半期 64,348株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務情報等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

第3四半期会計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、企業収益は減少し、また失業率が過去最高水準となる等雇用情勢は一段と厳しさを増しており、引き続き厳しい状況であります。

当社の事業領域であります携帯電話市場の累積回線数は、通信事業者4社で1億9百万回線を超え、当第3四半期会計期間（平成21年7月～9月）における加入者純増数は約114万回線となり、前年同四半期（平成20年7月～9月）の約118万回線を3.4%下回る結果となりました。

当社が主力として取り扱う携帯電話のソフトバンクモバイルは、6月26日に「iPhone<sup>™</sup>3G」の後継機であります「iPhone<sup>™</sup>3GS」を発売しました。旧機種より処理スピードが2倍に高速化された同端末は好評で、全キャリア総合の端末モデル別販売ランキングで首位となる等、新規販売を牽引しております。また、8月27日に新サービスの「のりかえ割」が発表され、9月1日より同サービスを開始いたしました。さらに、平成22年3月末にサービスを終了する予定の第2世代携帯電話の利用ユーザーに対して、ソフトバンクモバイルが第3世代携帯電話への移行キャンペーンを継続的に実施したこと、並びに平成18年10月に導入した割賦契約期間が終了したユーザーの機種変更需要も堅調であったことから、機種変更は好調に推移いたしました。これらに加え、ソフトバンクモバイルは、好感度の高いCMを継続的に放映する等積極的な施策を展開し、平成21年8月より加入者純増数で2ヶ月連続首位を獲得しました。

このような事業環境の中で、当社はソフトバンクモバイルの積極的な施策が最大の効果を生むように当社の販売現場での徹底に全力を挙げ、また、総販売台数を確保するために収益性の高い販売網の構築に取り組むとともに、販売の質の向上にも努めました。販売網については、当第3四半期会計期間においてM&Aによりソフトバンクショップを3店舗取得し、直営125店舗、フランチャイズ50店舗の合計175店舗となりました。この結果、新規販売台数は64,859台（前年同四半期比49.1%増）、機種変更台数は67,987台（同45.8%増）、新規販売と機種変更を合算した総販売台数は132,846台（同47.4%増）となりました。

一方、販売の質の向上については、通信事業者の手数料体系は、販売台数の量だけではなく、その販売の質も求められる時代になってきており、当社は、販売数量を向上させながら、同時に短期解約の防止や様々な顧客のニーズに応じた適切な新サービスの推奨を行うことにより、顧客単価の増額に努めました。さらに、個々の店舗単位における「販売の量及び質」による総合力が求められるようになってきており、当社はこうしたソフトバンクモバイルの求める方向性に沿って、販売の量及び質の向上を図った結果、当第3四半期会計期間においては、これらに対する手数料を高水準で獲得することができました。

以上の結果、当第3四半期会計期間における業績は、売上高13,679百万円（前年同四半期比55.7%増）、営業利益1,227百万円（同166.8%増）、経常利益1,221百万円（同162.4%増）、四半期純利益780百万円（同48.5%増）となりました。

また、当第3四半期累計期間における業績は、売上高33,949百万円（前年同四半期累計比37.3%増）、営業利益2,630百万円（同186.8%増）、経常利益2,613百万円（同181.1%増）、四半期純利益1,523百万円（同72.0%増）となりました。

なお、前年同四半期比及び前年同四半期累計比は参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて3,847百万円増加し15,956百万円となりました。

流動資産については、現金及び預金が412百万円、売掛金が1,653百万円及びたな卸資産が1,243百万円増加したこと等により、3,520百万円増加し13,684百万円となりました。

固定資産については、店舗拡大に伴い、有形固定資産が73百万円、無形固定資産が175百万円及び投資その他の資産が78百万円それぞれ増加し、2,272百万円となりました。

流動負債については、短期借入金が1,360百万円減少しましたが、買掛金が3,019百万円及び未払法人税等が884百万円増加したこと等により、2,565百万円増加し7,679百万円となりました。

固定負債については、長期借入金が162百万円減少したこと等により、1,266百万円となりました。

純資産については、利益剰余金が1,445百万円増加したことにより、7,011百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ412百万円増加し、5,218百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は2,751百万円の収入となりました。主たる要因は、税引前四半期純利益2,596百万円の計上、売上債権1,653百万円の増加及びたな卸資産986百万円の増加による支出、並びに仕入債務3,019百万円の増加による収入、法人税等312百万円の支払いであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は801百万円の支出となりました。主たる要因は、事業譲受け741百万円及び敷金の差入66百万円による支出であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は1,538百万円の支出となりました。要因は、短期借入金1,360百万円及び長期借入金100百万円の返済による支出、並びに配当金78百万円の支払いであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年12月期通期の業績予想については、本資料の公表時点では、平成21年10月5日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました業績予想に変更はございません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

定率法を採用している資産については、当第3四半期会計期間を含む事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,218,788	4,806,737
売掛金	5,008,801	3,355,474
たな卸資産	2,988,607	1,745,590
その他	467,859	257,404
貸倒引当金	△1	△1,609
流動資産合計	13,684,056	10,163,597
固定資産		
有形固定資産	614,206	540,832
無形固定資産	296,561	121,099
投資その他の資産		
関係会社株式	67,908	73,531
敷金	1,028,142	956,025
その他	267,465	254,130
貸倒引当金	△1,550	—
投資その他の資産合計	1,361,965	1,283,688
固定資産合計	2,272,733	1,945,620
資産合計	15,956,790	12,109,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,270,730	2,250,997
短期借入金	—	1,360,000
1年内返済予定の長期借入金	262,500	200,000
未払法人税等	1,036,118	151,771
賞与引当金	233,200	87,280
短期解約違約金損失引当金	6,944	14,260
その他	869,795	1,049,402
流動負債合計	7,679,289	5,113,713
固定負債		
長期借入金	1,137,500	1,300,000
退職給付引当金	48,265	41,744
その他	80,661	88,187
固定負債合計	1,266,426	1,429,932
負債合計	8,945,716	6,543,646
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,123,904	1,123,904
資本剰余金	1,587,757	1,587,757
利益剰余金	4,750,852	3,305,349
自己株式	△451,440	△451,440
株主資本合計	7,011,074	5,565,571
純資産合計	7,011,074	5,565,571
負債純資産合計	15,956,790	12,109,217

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	33,949,845
売上原価	26,540,940
売上総利益	7,408,904
販売費及び一般管理費	
給料	1,437,309
雑給	306,474
賞与引当金繰入額	233,200
退職給付費用	16,545
地代家賃	753,905
その他	2,030,974
販売費及び一般管理費合計	4,778,410
営業利益	2,630,494
営業外収益	
受取利息	303
受取賃貸料	5,400
商品券受贈益	5,018
その他	8,831
営業外収益合計	19,554
営業外費用	
支払利息	25,963
その他	10,591
営業外費用合計	36,554
経常利益	2,613,493
特別利益	
固定資産売却益	1
関係会社清算益	3,513
特別利益合計	3,514
特別損失	
固定資産除却損	9,575
店舗等撤退費用	10,839
関係会社株式売却損	474
特別損失合計	20,890
税引前四半期純利益	2,596,118
法人税、住民税及び事業税	1,183,121
法人税等調整額	△110,957
法人税等合計	1,072,164
四半期純利益	1,523,953

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	2,596,118
減価償却費	101,179
のれん償却額	46,776
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	145,919
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,520
受取利息及び受取配当金	△303
支払利息	25,963
固定資産売却損益 (△は益)	△1
固定資産除却損	9,575
関係会社株式売却損益 (△は益)	474
関係会社清算損益 (△は益)	△3,513
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,653,327
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△986,060
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,019,732
未払金の増減額 (△は減少)	△45,268
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△159,656
その他	△26,774
小計	3,077,298
利息及び配当金の受取額	303
利息の支払額	△13,929
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△312,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,751,341
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△36,574
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△13,260
関係会社の整理による収入	8,062
関係会社株式の売却による収入	600
事業譲受による支出	△741,002
敷金の差入による支出	△66,284
その他	47,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△801,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,360,000
長期借入金の返済による支出	△100,000
配当金の支払額	△78,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,538,039
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	412,051
現金及び現金同等物の期首残高	4,806,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,218,788

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## (6) 重要な後発事象

## 自己株式の処分及び当社株式の売出し

当社は、設備投資、運転資金及び長期借入金の返済に充当するため、また当社普通株式の分布状況の改善と流動性の向上を目的として、平成21年10月5日開催の取締役会において、自己株式の処分及び株式の売出しに関し、下記のとおり決議し、実施しております。なお、払込は平成21年10月21日に完了しております。

## 1. 売出しによる自己株式の処分

- |                    |                                     |          |
|--------------------|-------------------------------------|----------|
| (1) 処分株式の種類<br>及び数 | 当社普通株式                              | 5,567株   |
| (2) 売出価格           | 1株につき                               | 114,654円 |
| (3) 処分価額           | 1株につき                               | 108,153円 |
| (4) 処分方法           | 売出しとし、日興コーディアル証券株式会社に全株式を買取引受けさせます。 |          |
| (5) 申込期間           | 平成21年10月15日(木)～平成21年10月16日(金)       |          |
| (6) 払込期日           | 平成21年10月21日(水)                      |          |
| (7) 受渡期日           | 平成21年10月22日(木)                      |          |

## 2. 株式売出し(当社株主による売出し)

- |                    |  |        |
|--------------------|--|--------|
| (1) 売出株式の種類<br>及び数 | 当社普通株式   | 1,195株 |
| (2) 売出人及び売出<br>株式数 | 西川 猛   | 1,195株 |
| (3) 売出価格           | 売出価格は売出しによる自己株式の処分における売出価格と同一とします。   |        |
| (4) 売出方法           | 売出しによる自己株式の処分における処分方法と同一とし、日興コーディアル証券株式会社に全株式を買取引受けさせます。<br>売出しにおける引受人の対価は、売出価格から引受人より売出人に支払われる金額である引受価額(売出しによる自己株式の処分における処分価額と同一とします。)を差し引いた額の総額とします。 |        |
| (5) 申込期間           | 売出しによる自己株式の処分における申込期間と同一とします。  |        |
| (6) 受渡期日           | 売出しによる自己株式の処分における受渡期日と同一とします。  |        |

## 3. 株式売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

- |                    |  |        |
|--------------------|--|--------|
| (1) 売出株式の種類<br>及び数 | 当社普通株式   | 1,014株 |
| (2) 売出人            | 日興コーディアル証券株式会社   |        |
| (3) 売出価格           | 売出価格は売出しによる自己株式の処分における売出価格と同一とします。   |        |
| (4) 売出方法           | 売出しによる自己株式の処分及び当社株主による売出しの需要状況を勘案し、日興コーディアル証券株式会社が当社株主である西川猛より借り入れる当社株式を売出すものとします。 |        |
| (5) 申込期間           | 売出しによる自己株式の処分における申込期間と同一とします。  |        |
| (6) 受渡期日           | 売出しによる自己株式の処分における受渡期日と同一とします。  |        |

4. 第三者割当による自己株式の処分

- (1) 処分株式の種類及び数 当社普通株式 1,014株
- (2) 処分価額 売出しによる自己株式の処分における処分価額と同一とします。
- (3) 割当先及び割当株式数 日興コーディアル証券株式会社 1,014株
- (4) 申込期間(申込期日) 平成21年11月17日(火)
- (5) 払込期日 平成21年11月18日(水)

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

当社は前事業年度まで連結財務諸表を作成しており、第1四半期及び第3四半期の個別業績の開示を行っておりませんので、前年同四半期に係る財務諸表等は記載しておりません。

なお、前年同四半期に開示しております財務諸表等は次のとおりであります。

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成20年1月1日～9月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	25,736,365
II 売上原価	20,361,827
売上総利益	5,374,538
III 販売費及び一般管理費	4,423,228
営業利益	951,309
IV 営業外収益	19,975
V 営業外費用	14,352
経常利益	956,932
VI 特別利益	173,711
VII 特別損失	15,638
税金等調整前四半期純利益	1,115,005
税金費用	206,772
四半期純利益	908,233